

# 福祉の ひろば

- 特集 地域包括支援センターが耕す地域福祉 … 2
- 発信！県社協 …………… 4
- セルブな商品紹介（あおぞら作業所） …………… 5
- 教えて 施設の人気メニュー（特養くろまつ）… 5
- おらほの社協（田舎館村社協） …………… 6
- きらり☆この人 …………… 7
- 福祉用具ミニ講座 …………… 7
- 県社協から …………… 8

## 特集

# 地域包括支援センターが 耕す地域福祉



やりがいのあることに出会えるよろこび。地域とつながり地域が元気になります。

（田舎館村社協 高齢者生きがい体験教室）

# 特集

## 地域包括支援センターが

## 耕す地域福祉

地域包括支援センターは、平成18年4月から介護保険法の改正に伴い創設された機関です。今回は、地域の様々な福祉サービスとチームを組み、高齢者を総合的に支えるセンターの取組みとその可能性を検証します。

地域包括支援センターは、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー（ケアマネ）等を配置し、総合的に支援しています。心身の健

康維持や生活の安定、保健・福祉・医療の向上、財産管理、虐待防止など、高齢者やその家族等の抱える相談ごとに対して、総合的なマネジメントを行い、課題解決に向けた取り組みを実践していくことを主な業務としています。

今回は、行政直営と委託の2カ所の取組みをご紹介します。

### 八戸市地域包括支援センター

運営主体：八戸市

八戸市は、行政がおこなう直営型です。保健師、主任ケアマネ、社会福祉士のほか事務担当者22名のスタッフを配置しています。12カ所の在宅介護支援センターを地域の相談窓口（ランチ）として協力を体制をむすび、県内第2の人口規模を持つ八戸市をくまなくカバーしています。

#### ● 試行錯誤の3年間

平成21年にランチを2カ所増やしました。人口割だけでなく、活動範囲やランチの力量も踏まえ、実績に基づき地域の割当を見直しました。継続的なマネジメントに必要な人材育

- 地域包括支援センター数 58カ所
- ブランチ設置数 102カ所
- 運営主体

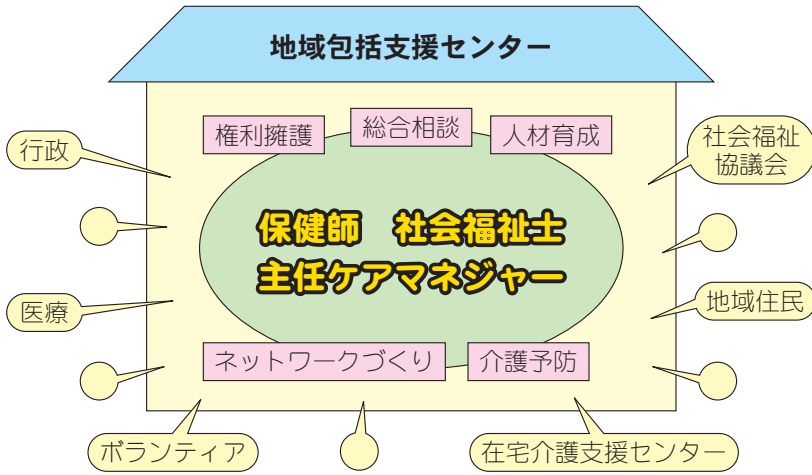
自治体直営	31	53.4%
社会福祉法人	16	27.6%
社会福祉協議会	5	8.6%
医療法人	2	3.4%
その他	4	6.9%

（平成21年 県社協調べ）

成にも力を入れています。新任の指導やマネジメントの向上を図り、各在宅介護支援センターの力量を上げることは、全体として機能アップにつながります。地域の見守りネットワークづくりはなかなか進まない状況でしたが、平成21年元旦に発生した八戸圏域の断水をきっかけに、住民意識が高まりました。要援護者の名簿の整備や災害時のネットワークについて、庁内各課との連携の必要性が生じ、庁内の問題としてセンターが提起し、各課を横断した取り組みへとつながっています。

### 地域包括支援センターの役割

- ① 総合相談  
介護だけでなく、健康や福祉、医療や生活に関することなど、どこに相談してよいか分からない心配ごとや悩みなどに対応しています。
- ② 権利擁護  
虐待の防止や判断能力が低下した人の権利を守るための支援をしています。
- ③ 共通の支援の基盤強化・ネットワークの構築  
住民、行政、医療、各専門職、事業者等と協議する場（地域ケア会議）やネットワークづくり。インフォーマル、フォーマルな社会資源の連携・調整を図ります。
- ④ 包括的・継続的マネジメント支援  
関係各所と継続的にケアマネジメントができるよう、ケアマネジャーの資質向上や相談対応の事例検討などを行いながら地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援します。
- ⑤ 介護予防ケアマネジメント  
介護が必要な状態にならないことを目的に、介護予防サービスを効果的に利用するための介護予防ケアプラン作成等を行います。



## ●連携ツールの開発

医療機関との連携は高齢者支援には重要だといわれていますが、なかなか苦勞が多いのが現実です。特に総合病院との連携は難しく、ケアマネが主治医からの意見聴取に苦勞していることが課題でした。

平成18年から地域連携意見交換会として、医療機関と熟練のケアマネ、担当職員がひざを交えての意見交換を行っています。

その成果として、平成19年に意見を記入する様式を作り上げ、市内全域で共通して使用できるようになりました。この様式により、ケアマネはもちろん主治医にとっても協力しやすいシステムになりました。

意見交換会では、病院側の意見やケアマネからの意見が率直に話され、相互の意思疎通に大きな役割を果たして



梅内所長と主任ケアマネの長谷川さん

います。

## ●直営ならではの利点を生かして

制度変更等の情報がいち早く入手でき、住民、医療関係、関係機関等との連携において、行政という安心感から協力を得られやすいのが強みです。

このように、八戸市地域包括支援センターは在宅介護支援センターや地域、外部関係団体、そして庁内でのつなぎ役として存在感を示しています。高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、チームとして総合的に高齢者を支える機関として、確実に成果を感じるようになったと梅内所長は話します。

## 鶴田町地域包括支援センター

運営主体：鶴田町社会福祉協議会

鶴田町地域包括支援センターは、鶴田町社会福祉協議会内の介護予防教室等を担当する主任ケアマネを含む介護予防係と、地域福祉や協力員の調整などの団体業務を担当する地域支援係の2つの部門のスタッフ11名で運営されています。

## ●みんな元気に「にこにこ教室」

平成14年度から、実施してきた介護予防教室「にこにこ教室」は、閉じこもり防止として、平成18年度からは地域包括支援センターの事業として継続されています。

「にこにこ教室」は、町内26ヶ所の集会所等で月2回開催され、平成20年度



二ニコニコ教室

は延べ5183人が利用しました。地域の協力員と一緒に、遊具などを使用した軽運動や、歌ったり、おやつを食べたり、参加者同士の交流を楽しんでいます。

## ●これまで築いてきたネットワークを生かして

太田介護予防係長は、最近の相談内容の傾向について、「介護関係の相談に限



太田介護予防係長

らず家族間の問題や自殺関係などの相談もあり、多様化しています。成年後見につなげたケースもあります。虐待の相談も増加しており、緊急対応のための虐待マニュアルを昨年度から行政と連携して作成中です。」と話します。

今後の課題としては、若い世代の協力員の育成とそのため体制づくりやセンター運営の経費工面が挙げられました。

千葉地域支援係長は、「社協活動によってこれまで築きあげてきた地域住民のネットワークを生かして、住民との信頼のもと、問題解決につなげていきたい」と熱い意気込みを語りました。

## ◆4年目を迎え◆

地域包括支援センターができてから4年目を迎え、その役割への期待が高まる一方で課題も見えてきました。

総合相談や権利擁護、ネットワークの構築など役割を果たすための専門職の確保が難しく、そのために必要な人件費の捻出も厳しい状況にあります。

また、少人数体制であるにも関わらず、求められる役割は大きく、力量のある人材確保・育成も大きな課題です。

地域にある課題にきめ細やかに対応するためには、行政のリーダーシップと体制の整備が重要となります。

住民が安心して暮らすため、行政が地域包括支援センターをどのように捉え、いかに地域と向き合い、住民の日々の生活を支援していくのか、まさに問われています。

# 発信！ 県社協

## 福利厚生センター加入の勧め

● 掛け金一万元は高い？  
福利厚生センター掛金は1人年間1万円です。では、入会するなどのようなサービスが受けられるのでしょうか。

### 33歳保育士、福子さんの場合

#### さらに上手に利用すると

5,000円

#### 会員交流事業

今年はお食事会に参加し、少ない負担で豪華なお食事を楽しみました。(家族旅行への助成金や演劇チケットの半額負担などの企画があります)

2,000円

出張先で提携ホテルへ割引料金で泊まり、テーマパークのチケットも割引になりました。

今年は**15,000円**  
相当も利用できました。

#### 基本的な利用

3,000円

#### 健康生活用品給付

30種類の商品から選べます

4,000円

#### 生活習慣病 予防健診費用助成

1,000円

#### クラブ・サークル活動助 成金。(職員親睦会も対 象になります。)

これで約**8,000円**

## 青森の福祉人材の確保・定着促進を考えるシンポジウム

日時 平成21年11月11日(水) 介護の日 14:15~

会場 ホテル青森3階「孔雀の間」

内容 ●講演「福祉人材の確保・定着促進における課題とその解決方法を探る(仮)」

講師 日本社会事業大学院教授 田島 誠一 氏

●シンポジウム「働きやすい環境をつくる～離職防止策を探る～」

コーディネーター 八戸大学人間健康学部准教授 篠崎 良勝 氏

入場無料

問合せ 県福祉人材センター TEL 017-777-0012

このほか永年勤続記念品の贈呈、結婚・出産祝い金、海外研修やスキルアップ研修など、たくさんサービスがあります。  
掛金の負担は原則事業主ですが、加入する職員の負担も可能です。福祉職場で働く職員の福利厚生の充実に向け、加入を是非検討してみてください。  
〔問合せ 経営部 経営支援担当〕

## 身体障害者福祉法制定60周年記念 第58回青森県社会福祉大会

「住民が共に支え合い、  
共に生きる社会の実現をめざして」

日時 平成21年11月17日(火) 12:30~15:00

会場 青森市民ホール

●ふれあいコンサート「歌声に希望をのせて」

講師 時田直也氏

神戸市生まれのバリトン歌手。「目がみえないのは不便ではあるが、決して不幸ではない。その事を一つの個性として、自分のオリジナリティを確立したい」歌とピアノ演奏を交えた講演をお楽しみください。

参加費 1人1,000円

(参加希望の方は事前にお申込みください)

●記念式典(表彰ほか)

●県内作業所の授産品販売

問合せ 地域福祉部 地域担当 TEL 017-723-1391

### 同時開催！ 福祉機器展

～福祉用具の日 in あおもり2009～

「床ずれ予防とケア」をテーマにした福祉用具の展示と介助技術のデモンストレーション。是非お立ち寄りください。

会場 青森市民ホール 1階 11:00~15:30

参加費 無料

問合せ 介護実習・普及センター TEL 017-774-3224

## 生活福祉資金 貸付制度の見直し

厳しい雇用失業情勢に対応するため、セーフティネット施策である生活福祉資金貸付事業が、さらに活用しやすく、効果的な支援が実現できるよう、資金種類や貸付要件が見直されました。

### ●主な改正点

- ・資金種類を、利用者にわかりやすく、柔軟な対応を可能とするために統合します。
- ・失業等により生活が困窮している方に対し、継続的な相談支援と併せて生活費及び一時的な資金を貸し付け、生活

### ●新たな貸付事業

の立て直しを支援する、「総合支援資金」が創設されます。  
原則として連帯保証人を必要としますが、連帯保証人を確保できない方に対しても貸付を行えるようになります。  
・現行、年3%の貸付利率の引き下げを行います。連帯保証人を確保できた場合は無利子、確保できない場合には、年1・5%とします。

住居のない離職者であり、公的給付・公的貸付の申請が受理されている方に対して、給付等の開始までのつなぎ資金である「臨時特例つなぎ資金貸し付け事業」も創設されます。  
〔問合せ 地域福祉部 生活支援担当〕

# セルプな商品紹介

冬限定のかわいいキャンドル。災害時にも活躍しますが、普段はかわいい置物として！  
1個 300円



あおぞら作業所では、作業活動で作成したキャンドルやさき織りのバッグや小物入れを販売しています。結婚式場等からいただく、燃え残ったロウソクを利用して作るキャンドルは、押し花を入れてカラフルに作られており、披露宴のお礼として購入する方もいます。季節限定の商品もありますので、ぜひ、この機会にご購入ください。また、キャンドル作りを体験したい方の受け入れもしていますので、ぜひ、遊びに来てください。自分だけのオリジナルキャンドルをつくってみませんか！



## 【購入方法】

○地域のイベント等への出品、喫茶店等での販売もしています。詳しくはあおぞら作業所までお問い合わせください。

## 【連絡先】

### 特定非営利活動法人 あおぞら作業所

〒036-0306 黒石市内町61-1  
TEL/FAX 0172-53-5633

あおぞら作業所では、10名の障がいを持つ方々が会員登録しており、自立した社会生活を目標として、授産品の生産や部品の組み立て作業等に取り組んでいます。

時間をかけて丁寧に作られたさき織りは、ボランティアの協力で、バックや眼鏡ケースなどに仕上げられます。カラフルで丈夫な上、同じものが二つとないのが好評です。



さき織りのりんごコースター。たくさんあつめると楽しくなります。  
1枚 250円



◇人気の食事は、「八杯汁」  
50名の入居者やデイサービスセンターに通う地域の高齢者に人気があるのが、椎茸と豆腐が入った「八杯汁」。醤油ベースに片栗粉でとろみを付け、椎茸の風味が漂う一品！「冠婚葬祭など、人が大勢集まる時に

出される汁物で、自宅ではなかなか作らないとあって、利用者には体が温まると好評です」と主任



## 特別養護老人ホーム くろまつ

大間町にある特別養護老人ホーム「くろまつ」では、デイサービスや包括支援センターの機能を持ち、訪問介護、訪問入浴、訪問看護、移送サービス、配食サービス等、町の高齢者への支援事業を総合的に提供しています。

〒039-4601  
下北郡大間町大字大間字大間平20-78  
電話 0175-37-5111

## ◇豊富な食材を 楽しくいただく！

管理栄養士の大坂雅子さんは笑顔で話します。その他に、利用者の嗜好を聞いてみると不人気の食材は、ほうれん草や白菜の御浸し等、なぜか青物野菜で、青菜の味噌汁は、青菜を寄せて食べているとのこと。逆に、イモ系は、大好物で、サラダや煮物、特にサツマイモの天ぷらは、大好物です。



くろまつでは、居酒屋や喫茶コーナー、選択食、バイキングを実施しています。居酒屋の時などは、天然帆立の貝焼きやウニ、まるご(ムール貝の一種)を使った料理など、地元の海の食材をふんだんに活用し、提供しています。

喫茶コーナーでは、見た目にも美しいケーキや菓子と一緒にしゃべりを楽しみ、優雅なひと時を過ごしています。

教えて  
人気メニュー  
教えて



美しいデザートは華やかな気持ちに！

# おらほの社協

## 田舎館村社協

2009年は戦国武将とナポレオン



〒038-1122 南津軽郡田舎館村大字八反田字古館20-1  
TEL 0172-43-8111 FAX 0172-58-3675

### ○3つの温泉を

#### 拠点にした介護予防

田舎館村協会は、村から地域包括支援センターを受託し、地域の高齢者をきめ細かく支えています。

村内3カ所の温泉は、平日の日中高齢者に無料で開放されています。送迎バスも無料で利用でき、村内の多くの高齢者が集まる交流の場となっています。

「昔に比べ友達の家に行ってお茶のみをする方が少なくなっている中、温泉に入り、休憩室でお昼を食べたりおしゃべりをする場が介護予防につながっています」とセンター看護師の福原さんは話します。



社協が指定管理で運営している川部温泉。つるつるしたお湯で一般の方も入浴できます。

毎月各温泉に出向き、センターの社会福祉士と一緒に転倒防止や冬場の運動不足解消などをテーマに教室を開催しています。2ヶ月に一度の健康相談では、午前中だけで30人程の血圧測定をしながら個別に面談をしています。いつまでも元気に温泉に来られるように地道な活動を続けています。

社協ではデイサービスセンターやホームヘルパー事業も実施しているので、村内の高齢者を広く支援する体制が整っています。



### ○うどん屋さんで

#### 生きがいづくり

4月から実施している高齢者生きがい体験教室で、うどんづくり教室を始めました。参加者から「せつかくつくった美味しいうどんを、みんなに食べてほしい」という要望に応え、田んぼアートの見学者が多く訪れる村役場の一角で7月から9月まで「うどんや」を出店しました。村で一番美味しいうどんを作りたいと、楽しみながらも真剣に取り組んでいます。



補助金が減る中で、社協らしい事業をやっていくための収益事業の道を探る中で、高齢者の生きがい対策と雇用創出につながる活動に育てていければと山谷事務局長は熱く語ります。

### 福祉にかかわる皆様のために!!



- ・総合火災共済
- ・自動車総合共済(MAP)
- ・自動車事故費用共済

青森県火災共済協同組合  
青森県中小企業共済協同組合  
(青森市新町2丁目8-26)  
TEL 017-777-8111  
FAX 017-723-3192

お客様に喜んで頂ける商品づくり。

## KOU-SEI PRINTING

- 各種印刷物
- ホームページ製作
- 自費出版
- プログラム開発

### (株)コーセイ印刷

青森県青森市幸畑松元73

TEL 017-738-2311 FAX 017-738-5972

<http://www.kou-sei.co.jp> E-mail kkp06@kou-sei.co.jp

# 福祉用具ミニ講座 Vol.2

褥瘡予防のための福祉用具第2弾は、車いすと付属品をご紹介します。

ネッティⅢにはティルト機能がついています。通常のリクライニングは、背もたれが後方に傾くだけで、ティルトは背もたれと座面が一緒に後方に傾きます(いす全体が傾く)。



492,000円  
ラックヘルスケア株式会社  
(介護保険レンタル商品)

このようなずっこけ座りによる、ズレと摩擦を防ぎます！



このため普通に座っているだけだとお尻と太ももにかかる**体重を背中や腰にも分散させることができます(減圧)**。

<ティルト>  
いす全体が傾く。



37,800円  
アイ・ソネックス株式会社  
(介護保険レンタル商品)

車いすに付ける付属品、背クッションと座クッションです。

体型に合わせてサイドパットや骨盤パットで調整できるので、ずっこけ座りや斜め座りを防止し、**姿勢を保持することで圧とズレを予防します。**

青森県介護実習・普及センター  
お問合せ 電話 017-774-3234 FAX 017-774-3235



高校を卒業してすぐに、市内の学校でパソコンの授業などを担当している時に、子どもと接する楽しさを感じ、大学に入って保育士資格を取得しました。この保育園で働いて2年ちよつとになります。

乳幼児にはお母さんとしての役割を求められる場面が多いので、男性の自分がどこまで母性を出しきれているのかなあと思うことがあります。お父さんたちには気軽に声をかけてもらったりして、男性同士だからこそその信頼関係を感じることがあります。

保育園では生活習慣や善悪の区別を身につける

という教育的な面も求められています。自分の保育がこれでよいかと自問自答して、それを毎日記記に書いていますが、子どもたちのできることを支え、伸ばすことを常に考えています。

さつきも、脱いだ靴下をたたんでお願いしてきた女の子に、僕がちよつとヒントを話しただけで、自分できちんと靴下をまとめられたんです。できないことがちよつとづつできるようになる。子どもたちの成長が本当に嬉しいですね。

実生活では2児の父親でもあります。自分が幸せであることがモットー。将来は、保育士を養成する立場として、高い倫理観とブレない価値観を持つ保育士を育てたいと思っています。

あいら☆この人

藤林 秀さん

五所川原市長橋保育園保育士(25)

医療の進化にあわせた、  
アフラックのいちばん新しい  
「がん保険」です。



■募集代理店  
**株式会社RAB企画**

TEL 017-739-1674 FAX 017-739-3598

〒030-0113 青森市第二間屋町3丁目2-35

(引受保険会社)

「生きる」を創る。  
**Aflac** (アメリカンファミリー生命保険会社)  
青森支社  
〒030-0802 青森市本町1-2-15  
青森本町第一生命ビルディング 9F  
当社保険に関するお問合せ・各種お手続き  
コールセンター ☎ 0120-5555-95

◎詳しくは、「パンフレット(契約概要)」・「ご契約のしおり抜粋」・「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。  
◎健康状態などによってはお申込みをお引受けできない場合がございます。

### 職員の不祥事について

この度、本会職員による生活福祉資金貸付事業資金の横領事案が発覚いたしました。

このことは、本会へ寄せる県民の皆様への信頼を著しく失墜させるものであり、また、地域福祉の推進に日夜懸命に努力している県内市町村社会福祉協議会及び各種福祉団体に対する信頼をも損ねることになり、県民並びに関係者の皆様へ衷心よりお詫び申し上げます。

本会では、9月30日付けで当該職員を懲戒解雇処分にするとともに、専務理事及び管理監督の立場にある職員を減給処分とし、事案の全容解明に向けて今後調査を行うことといたしました。

また、この不祥事を深く反省し、全職員に対し綱紀粛正と規律の確保を求めるとともに、本会の事務執行体制の改善と再発防止策の構築を徹底して行い、役職員が一丸となって失われた本会への信頼回復へ向けて努力して参りますので、今後ともご指導・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### 苦情解決責任者・受付担当者研修会

日時 11月20日(金)13:00~16:30  
 会場 県民福祉プラザ4階  
 県民ホール  
 内容 苦情解決体制の行政説明や基調報告、苦情解決事例に学ぶ分科会  
 問合せ 青森県運営適正化委員会  
 TEL 017-731-3039

### 第三者評価調査者養成研修

期 日 11月29日、30日、12月4日、5日、13日の計5日間

会 場 県民福祉プラザ  
 内 容 評価調査者として活動するための講義、演習等  
 問合せ 青森県福祉サービス第三者評価推進委員会  
 TEL 017-732-1570

### 社会福祉施設中堅職員研修

期 日 11月24日(火)・25日(水)  
 会 場 青森市文化会館  
 内 容 社会福祉施設職員の主任・リーダーなどを対象に、中堅職員の役割と行動の理解を中心に講義・演習を行います。  
 参加費 8,500円  
 問合せ 県福祉人材センター  
 TEL 017-777-0012

### 社会福祉施設経営者支援セミナー

期 日 12月7日(月)  
 会 場 県民福祉プラザ  
 内 容 社会福祉施設の経営者・管理者を対象に、福祉の動向や現状・課題についての講義を行います。  
 参加費 4,000円  
 問合せ 県福祉人材センター

### 福祉の仕事一日移動相談

期日・会場  
 12月1日(火) 十和田市  
 12月4日(金) むつ市  
 12月7日(月) 黒石市  
 12月9日(水) 五所川原市  
 12月14日(月) 野辺地町  
 時 間 9:30~15:00  
 内 容 職業安定所内で専門的に福祉職等についての相談会を行ないます。  
 問合せ 県福祉人材センター

### 寄付金・預託金のお礼 御協力ありがとうございました (平成21年7月~21年9月/敬称略)

- 青森県社会福祉協議会への寄付
  - ・青森県ターゲット・バードゴルフ協会 44,232円
  - ・小松物産株式会社青森支店 56,400円
  - ・匿名希望1名 415円
- 青森県善意銀行への寄付
  - ・新日本プロレスリング株式会社 特別招待110名
  - ・ダンスサークル青森 15,000円
  - ・青森銀行従業員組合  
ヘルマーク、使用済み切手、プリペイドカード
  - ・青森銀行従業員組合  
卓上糸鋸、ホビークラフトバンド、高織機一式、作業着と白衣
  - ・フードバンクだいち  
なす、きゃべつ、米ほか
  - ・春日井バレエ・ダンスギャラリー  
チケット30枚、プログラム10部
  - ・スポーツ青い森グループ  
野球招待券 500枚
  - ・青森県ふるさとづくり  
プラットフォーム機構 1,300,000円
  - ・みちのく銀行堤橋支店グリーンクラブ 100,000円
  - ・明治大学校友会青森地域支部  
マンドリンコンサートチケット150枚
  - ・青森県個人タクシー連合会  
車椅子5台
  - ・NPO法人モバイル・コミュニケー  
ション・ファンド 500,000円
  - ・成田園 ほうじ茶50本
  - ・ライオンズクラブ国際協会  
332-A地区  
サージカルマスク 40,000枚
  - ・うとうの会 60,800円

ホームページでも「福祉のひろば」がご覧いただけます。

#### 発行所

〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号  
 県民福祉プラザ2階  
 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会  
 TEL 017(723)1391 FAX 017(723)1394  
 URL <http://www.aosyakyu.or.jp>  
 E-mail [fureai-net@aosyakyu.or.jp](mailto:fureai-net@aosyakyu.or.jp)

#### 印刷所

株式会社コーセイ印刷

### 編集後記



地域福祉は、人と人との信頼をベースに存在しうるものと思います。それを自ら損ねてしまったことは、慙愧に堪えません。県民の皆様は勿論のこと日夜懸命に努力している関係機関・団体の皆様の信頼をも損ねる結果となり、衷心よりお詫び申し上げます。

善管注意義務には、プロセス責任と結果責任があり、正副会長や常勤理事等が結果責任を負っていただいているのに、職員全員がこれまでの過程において、そのプロセス責任を果たしたのかと自問自答する毎日であります。今は、経営支援の言葉すら虚しいだけです。今後は、この教訓を生かし、プロセス責任を果たせる事務局体制づくりに向けて頑張るしかありません。関係者のご教示、ご支援をお願い申し上げます。  
 (K・T)